

2021年第1回「分」句会 「初夢」「白菜」または自由

7点句

乳首たつふたり逃げ込む冬の舟

ナツツ

特選 鮭航太・茜・夜桃

並選 一天

特選

「乳首たつふたり」に一気に持ってかれた。物凄いドラマを感じた。二人は殺されそうになっている。その恐怖の中でも寒さなのか、性欲なのかわからないが乳首がたっている。ドラマの中のリアリズム。(鮭航太)

躍動感と乳首。二人は寒いのかそれとも。後はご想像に任せます(笑) (茜)

冬のエロス。乳首、舟、逃げるなど、か弱くちいさなものディテールが重なって不安定な印象だけれど、全体として文字の並びやバランスには非常に安定感があってすばらしいなと思いました。あえて演歌の歌詞みたいな古くささに寄せているところも好きです。(夜桃)

並選

なんだか映画のワンシーンみたい。

(一天)

4点句

白菜の積まれとけゆく広野かな

惑星

特選 琢磨

並選 井沢軽・天象

特選

白菜の鍋だろうか。湯の中に積まれては溶けゆく白菜をなにかにたとえるとき、「広野」という言葉選びはわかりやすくして良いと思った。情景が目には浮かぶ句。(琢磨)

並選

都会にあると1玉でも大きい白菜だけど、広い田舎の風景にはほんの一部。新春ののどかで大きな句。(井沢軽)

ぐおるぐおると鳩の機嫌の小春日や

ナツツ

特選 子牛

並選 井沢軽・夜桃

特選

リズム、鳩が喜んでいる暖かい日、のんびりした様子が好き (子牛)

並選

擬音語がおもしろくて、それだけでオツケ1。小春日は冬の季語なので、新春の季語なら尚よかったかも。(井沢軽)
はじめて聞く擬音でした。擬音の発明は意外と難しいですね。(夜桃)

3点句

白菜の透けし袋を追う視線 日曜

並選 一天・井沢軽・夜桃

並選

ネコの視線のようで面白い。その視線を作者がまた追いかけているみたい。(一天)
あるある。白菜1〜4カットとか、一人暮らしには便利だけど、つまらない風景です。

(井沢軽)

謎解きをしたくなる句。白菜の丸みに袋
が張り付いているかんじがエロティックだ
なあと思ったら最後に「視線」とあるのでま
すます気になる笑。

(夜桃)

全霊の犬の叫びや冬銀河 鮭航太

並選 一天・井沢軽・子牛

並選

銀河のしたで犬の遠吠えが、とても映像的
で音が響いてくるよう。

(一天)

神話の1シーンみたいで映像が綺麗

(井沢軽)

犬の遠吠え、冴えわたる空、寒さがピン
と伝わる句

(子牛)

白菜も赤子も抱けば丸い塊よ 惑星

並選 鮭航太・ナッツ・琢磨

並選

白菜を赤ちゃんに見立てる句が何句が
あったが、白菜も赤ちゃんもただの物質と
捉えているのが良かった。丸い塊よという
言い方はなんか自分に言い聞かせている感
じもした。

(鮭航太)

塊を魂と見間違えましたがおんなじこと
ですかね？ 白くて柔らかでつやつや。大地

の子と、ひとの子。あれ、大地讃頌の歌詞だ
な。

(ナッツ)

下五の字余りの勢いが良い。

(琢磨)

初夢や炭酸を飲む味は無し 光則

特選 惑星

並選 トホ

特選

初夢と言ってありがたがるのは人の都合
で、夢を作る脳にとっては、普通に日常。

お酒も入れない炭酸がちょうどお似合い。
醒めた感覚が心地よく響きました。

(惑星)

並選

夢と炭酸、似てますね

(トホ)

木の下にもいだ蜜柑が載る机 夜桃

特選 一天

並選 惑星

特選

木漏れ日のなかに丸い色彩をもった存在
がポツンとある絵画のような世界を想像し

ました。机はどうしてそこに？ これ自体

が夢の世界のようでした。初夢？ (一天)

初夢に前頭葉を喰われたる 鮭航太

特選 井沢軽

並選 トホ

特選

バクは夢を食べて、夢は脳みそを食べるっ
て、どんな弱肉強食、食物連鎖！ 何も考
えられないまったりした正月の時間は、初夢
のせいでしょう。

(井沢軽)

2点句

茄子白菜を富士に積み上げ鷹の爪

一天

並選 夜桃・子牛

並選

おみごと。と最後に言いたくなる！ パッ
と明るい句は、川柳的になってしまいがちな
ので意外と難しいと思うんですが、これはく
どくならず上手く出来てるなと思います
た。特選と迷いました。

(夜桃)

冬の情景。白菜漬けだけでも良かった。

(子牛)

白菜を割く音かるし湯も沸いた 惑星

並選 トホ・茜

予選 井沢軽

並選

音の歌、心地よいです (トホ)

白菜の特徴をよみたかったが、なるほどこ
うきたかの俳句。 (茜)

予選

白菜を音で捉えるのが良かった。最後は
沸いた湯を名詞で表現したら余韻が出てか
も。 (井沢軽)

底冷えの帰路白菜を抱き歩く 光則

特選 トホ

特選

白菜を抱くって表現、温かい。 (トホ)

初夢の続きを見たくて杯重ね 日曜

並選 ナッツ・琢磨

並選

きもち、わかります。親戚のおじさんが幸
せそうに熱燗を呑んでたのが浮かびました。

(ナッツ)

初夢や海辺の車両基地の中 光則

並選 惑星・茜

並選

私も見たような気がする夢。 (惑星)

なんだか気になる俳句。意味が知りたい

(茜)

初夢がなんたらかんたら部屋の向こ
う 天象

並選 鮭航太・茜

並選

作句のいいかげんな感じがよかった。5・
8・6のリズムも投げやりな雰囲気醸し
出している。部屋の向こうというここでは
ないというのもよかった。 (鮭航太)

きつと興味ないようで気になるのに、仲間
に入れてもらえないのかな。 (茜)

初夢ののち棧橋で糸垂らす 光則

並選 鮭航太・子牛

並選

普通に釣りの事なのかもしれないけど、ど
こか意味深な感じがする。夢を引きづった
まま現実世界にいる感じ。糸先の水中と夢
も繋がっているような。 (鮭航太)

のんびり過ごせる正月休み、いいなあ。

(子牛)

あの人の目だけ大きい夜寒し 夜桃

特選 ナッツ

特選

冬の寒い夜、暗い部屋、抱き合った後の濃
密な闇。放心気味で見つめあっている。近
いから目もおっきいし、そこしか見えない。
1月はなんとなくしずかだけど情熱的な月。
いいなあ。 (ナッツ)

1点句

冬空のいろのアイスを食べるひと

ナッツ

並選 トホ

並選

冬空色、何味かしら。(トホ)

初夢の綺麗な事よ忘れたり 熊猫山

並選 惑星

白菜の芯まであらふ指に輝 琢磨

並選 惑星

並選

白菜の芯はつるんと曲がっていて、そこに指を沿わせて洗う人もいるだろう。マメで几帳面で、休みなく手を動かす人だから輝がつきものなんだな。(惑星)

俗世へ愛想笑ひの月浮かぶ 鮭航太

並選 一天

並選

愛想笑いの月って？ なんだかおかしな句だな。(一天)

妻の手がつかむ白菜初日の出 一天

並選 ナッツ

並選

憧れの妻シリーズ。台所なのか、畑なのか、庭なのか。独身女がつかんでも絵にならないの、いいです。今年、妻がいる人はもつと妻シリーズを詠んでください。(ナッツ)

白菜を額に当てて熱冷まし 井沢軽

並選 琢磨

白菜やいつぱいの白けむり吐く 琢磨

並選 夜桃

並選

冬の白菜料理のキャッチコピーとしては最高ですね。あったまります。(夜桃)

白菜がちいさすぎると小言云ふ 琢磨

並選 茜

並選

わかる。そのきもち。(茜)

元旦はシャンパン女ふたりだけ 夜桃

並選 ナッツ

並選

ハイカラなお母さんと、娘ののんびりしたあっけらかんとしたお正月がうかびました。素敵。(ナッツ)

白菜が黒菜になる夜のおんな 夜桃

並選 鮭航太

並選

なんか怖い。。。女の情念籠ってる。

また阿部定思い出した(僕は俳句で阿部定を思い出す事がなぜが多い)

黒菜なんて初めて聞いたので、今調べたら熊本でとれる小松菜のような野菜らしい。

ただこの句は真っ黒な白菜を想像した方が面白い。(鮭航太)

寒猫の丸々なるはベルベット 熊猫山

並選 子牛

並選

さむねこ？ かんねこ？ 寒いという字の割に暖かな句。(子牛)

つま先に日だまりのある正月や

ナッツ

並選 天象

和洋中白菜とける旅したい

トホ

並選 琢磨

並選

確かに白菜ってどういう風に調理しても
美味しいなあと頷いた。
(琢磨)

白菜の重ね着脱がし鍋奉行 井沢軽

並選 天象

0点句

酒を飲み猫を集めて愛でる冬 茜

冷めた飯冷たい白菜漬け乗せて 茜

初夢にカラスを見たり雑煮食う一天

白菜を産み落としてゐるエイリアン

鮭航太

初夢や友と肩組み歌う宵 子牛

下町の冬のサラダは生白菜 茜

白菜の緑の葉こそおいしけれ 日曜

ペロと剥く恥じらい込みで買う白菜 茜

初夢の君やいずこのどなた様 子牛

初夢や独り隔離の感染者 井沢軽

白菜を逆光で見る細目かな 鮭航太

寒苺逆さの固さ歯をたてる ナッツ

獏枕目が覚めると真昼だった 琢磨

白菜抱きガラスを見ると母子なりけり 天象

白菜刻むね包むね餃子焼く 子牛

高架背に白菜立つやボロボロと☒

惑星

白菜は生き別れた根の無事願う

井沢軽

白菜割る母の手赤く凍てつきて 子牛

墮天使を地上で受けとめたる初夢 一天

初夢のダークネスああ心地よき 夜桃

白菜を背負いし吾子の手にぎる 琢磨

初夢に極彩色の菊ちりばめし 惑星

良い夢を見たら初夢にする身勝手よ 茜

樽の中水薄氷美味白菜 子牛

白菜を切る感触が手に響き 日曜

初登場初夢の中妹よ 井沢軽

包丁を研ぎ白菜へ突き刺せり 光則

出汁ひかる白菜と揚げ恋におちトホ

キムチなら白菜だよね雪見酒 一天

総評

出てきた句を読んでいると、兼題「白菜」は、母や子と結びつきやすいような印象でした。「初夢」は突飛なイメージをたくさん生

んでいて面白かったです。(琢磨)

好きな句が多かったです。今回はいつもよりひとつ選べる句が少なかったです。もう一つ選ぶとしたら

「冬空のいろのアイスを食べるひと」も良いと思いました。(夜桃)